

## 新旧代表のご挨拶

### ◆退任のご挨拶

10年前、高まりつつあった全国の冒険遊び場づくり支援のため、NPO 法人日本冒険遊び場づくり協会の立ち上げを企画していた人々に誘われ、代表の座に据えられました。この間会員の多様な思いを実現すべく、全国の大勢の人々に支えられながらなんとか続けてきたのですが、昨年末病気が見つかり、このまま継続してはかえってご迷惑をおかけすることから、代表を辞させていただくことといたしました。

長期間にわたり多大の協力をいただきながら、協会に不可欠な財政基盤を確立できなかったことが心残りですが、今後とも皆さんの積極的姿勢で乗り越えていただきたいと願っています。最後に、協会のますますの発展をお祈り申し上げます。

大村 虔一

### ◆就任のご挨拶

大村虔一さんには長い間代表をお引き受けいただき、感謝でいっぱいです。

私自身は、1980年代に羽根木プレーパークの実行委員会に参加しましたが、実行委員長が大村虔一さんでした。故大村璋子さんも、『冒険遊び場がやってきた！』の本の出版に奔走されるなど、熱心に活動されてきました。地域に住む子を持つひとりの親として遊び場づくりの不思議な魅力にひかれ、深く長く関わり続けて、今に至ります。

1998年の初めての全国研究集会の開催から、IPA日本支部冒険遊び場情報室の開設、NPO法人日本冒険遊び場づくり協会の設立と進んで来たわけですが、それらを知らないかたがたとも一緒に、今「遊びあふれるまちへ！」と、日本冒険遊び場づくり協会は歩んでいます。

これからも多くみなさんでつながり、日本冒険遊び場づくり協会を、いっしょに動かしていきたいと思えます。引き続き、どうぞよろしくお願い致します。

関戸 まゆみ